

市民クラブ

おほばみちよし
大庭通嘉議員

令和4年度予算編成方針

問 市長が進める袋井ver1.0からver2.0への機能強化策とは何か。

答 ①地域産業のイノベーション②脱炭素社会の実現③健康寿命日本一④DX(デジタル変革)の推進⑤共生のまちの実現⑥災害に強いまちづくりなど、これまでの施策に磨きをかけ、人・モノ・カネの経営資源を効果的・効率的に運用し、行政サービスを進化、充実させていきたい。

問 市長在任中に実施したい事業、実施しなければいけない事業をどう考えているか。

答 コロナ対策による暮らし経済の回復、3回目のワクチン接種と生活困窮者支援、産業振興のための企業誘致や治水対策、健康寿命の延伸、温室効果ガス削減、デジタル社会への変革、産業・農業・観光など地域の活性化に向けた取り組みなどを進めたい。

地球温暖化対策

問 市として二酸化炭素排出実質ゼロ表明をする考えはないか。

答 公共施設への再生可能エネルギー由来の電力導入などの見通しを立てた上で、2050年カーボンゼロ表明をしたい。

問 温室効果ガス削減目標はどのくらいか。

答 市の環境基本計画の見直しに当たり、国の目標値の2030年に2013年度比マイナス46%に合わせて修正する予定である。

問 電力の地産地消の進め方はどうか。

答 公共施設への太陽光発電設備を可能な限り整備をする。屋根置きに限らず、あらゆる設置方法を検討し、地産電力の拡大をしていく。

ごみ減量化

問 ごみ袋有料化に向けての市民説明会を終えての今後の市の進め方は。

答 令和4年4月からのごみ袋有料化は見送り、分別の徹底による可燃ごみの削減に取り組み。2030年までに30%の減量目標として取り組み、削減が困難だと判断した際には、有料化や記名式の導入をお願いする。まず来年度からは、月2回の資源・埋め立てごみの収集と併せて、雑紙(ごみ)がみ)について回収できるように検討したい。



ごみ袋

その他の質問事項

- ・ 地方債現在高について
- ・ JR袋井駅南開発完成イベント
- ・ 袋井市におけるデジタル化の推進
- ・ 宇刈里山公園の整備 ほか

一般質問とは

個々の議員が市政全般にわたり市長・教育長に対して行う質問で、各定例会で行います。質問時間は一人30分以内となっています。

質問内容

代表質問・一般質問の日程と内容を紹介します。



質問方式

- ①一括質問一括答弁
議員がまとめて3回まで質問を行い、市長などもまとめて答弁を行います。
- ②一問一答
議員の質問と市長などの答弁を一問ずつ交互に行います。

代表質問とは

翌年度の市政の運営に向けて会派の政策提言・提案という趣旨で会派を代表する議員が行うものです。本市議会では11月市議会定例会で、一般質問に先立ち行います。質問時間は、会派の人数によって異なります。

1会派あたり20分 + (会派の人数×5分)
上限60分

- 自民公明クラブ
20分 + (10人×5分) = 60分 (上限)
- 緑風会
20分 + (5人×5分) = 45分
- 市民クラブ
20分 + (2人×5分) = 30分